



社長の悩み
こちらで
解決！



社長の学び場

検索

<https://shiga.doyu.jp/manabiba/>

社長の

社員が
足りない

社員の
高齢化
が心配

後継者
がいない

なかなか
社員の給料
を上げられない

人が
育たない

採用しても
すぐ辞めて
しまう

社内の
コミュニケーション
が足りない

社内が
バラバラ
な感じ

社内の
雰囲気が
暗い

機械、設備も
古くなって
きた

経営の事を
相談する相手
がいない

目先のことに
追われてばかりで
将来が不安

どうしたら
売り上げや
利益が上がるか
勉強したい

学び場

滋賀県中小企業家同友会

「社長の学び場」は経営の悩みを解決する
滋賀の経営者が集まる場です。

滋賀県中小企業家同友会の理念と組織

理念

同友会の3つの目的

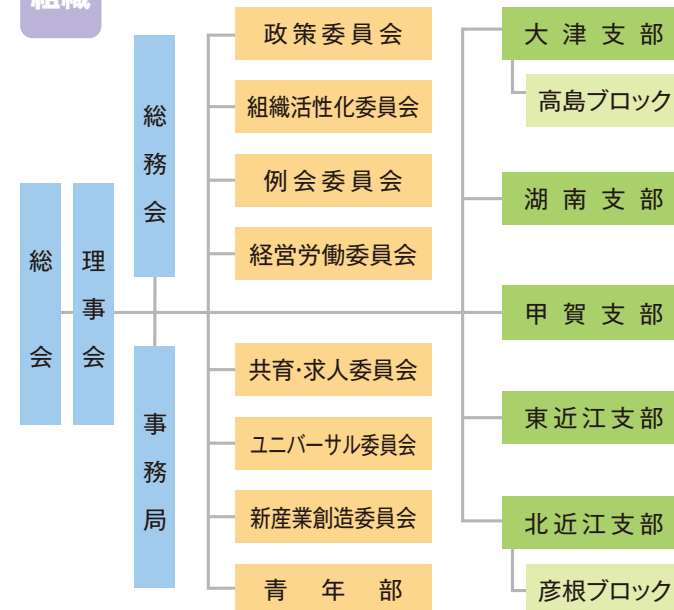
自主・民主・連帯
の精神

国民や地域と
共に歩む中小企業

＜同友会の3つの目的＞

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
3. 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

組織



同友会 Q & A コーナー

Q 同友会って、どういう会なのですか？

A 中小企業家が自主的に参加し、企業の繁栄をめざして学び合い活動を行っている、非営利の任意団体（全国組織）です。会の財政は会員の会費収入を中心に成立し、手作りの運営を心がけ、中小企業家のあらゆる要望に応じて活動するという特色があります。滋賀では600人、全国47都道府県で46,000人が加入しています。滋賀同友会は2019年1月に創立40周年を迎えます。

Q どのような立場の人が入会しているのですか？

A 会の趣旨に賛同する中小企業の経営者および準ずる人が会員になれます。専門士業の人、自営業の人、工場長や営業所の所長、地域と共に歩みたいと願う大企業の役員の人も仲間になることができますので、まずはお問い合わせ下さい。

Q 政治や行政に対する姿勢は？

A 会の目的を達成するために、どの政党ともわけへだてなくお付き合いしますが、会としては特定の政党と特別な関係をもたないようにしています。会活動は補助金に依存していませんので、政党や行政とは共に地域を良くしていく立場で自由に意見交換を行っています。全国の県や市町では、行政と協働して「中小企業振興基本条例」の制定や「産業振興会議」等の設置による振興施策の立案や推進を担う経験が広がっています。

Q 入会に必用な費用はどれくらいですか？

A 会費6,000円／月（3ヶ月ずつ前納）、入会金20,000円です。特別な行事（懇親会や著名な講師を呼ぶ、任意の研修会など）以外は、例会は原則無料です。

Q 入会後はどうすれば良いのですか？

A 入会お申込のあと、理事会で承認され、地域の支部に所属します。支部役員が事務局からオリエンテーションや例会のご案内で連絡があります。まずそこからご参加下さい。

Q 行事の案内はどうやってくるのですか？
その返答は？

A 月末に封筒で全体のご案内や広報をお送りします。所属の支部行事をご確認下さい。個別にはグループウェア「e.doyuシステム」をお使いいただき、Web上で案内と出欠の返答が出来ます。また必要に応じてFAXでもご案内いたします。

Q 登録した会員しか参加できないのですか？

A オープンにしている例会は、会員の参加を優先していますが代理の経営者、後継者や幹部社員と共に参加することも出来ますので、お問い合わせ下さい。また、社員対象の研修会、青年経営者向けの例会（青年部）もあります。例会や行事のテーマ、主旨にあわせて、会社での共育に活用して下さい。

Q 入会の手続きは？

A まず事務局までご一報下さい。説明にお伺いをいたします。ホームページからお申込みいただけます。

社長の学び場

検索

事務局 TEL.077(561)5333

メール jimu@shiga.doyu.jp



異業種の集まりの中で、良きブレーンをつくろう！

滋賀県中小企業家同友会の活動概要

例会を中心に、
生きた経営実践から
学び合います！



経営体験を学ぶ例会



熱く学び合う青年部例会



海外ビジネス研究会(カトマンズ訪問)

経営指針
(理念・10年ビジョン・方針・計画)
の成文化と
実践で自立的な
企業づくり



経営指針を創る会

経営指針を創る会(全7講)を開催し、自社の経営の軸となる「経営理念」と「経営理念」を実現するための「10年ビジョン」「経営方針」と「経営計画」をつについた「経営指針書」の作成を「創る会」を卒業した先輩経営者と共にすすめています。「経営指針」の成文化は、社員と共に地域にとってなくてはならない会社づくりをすすめていくために欠かせません。経営指針書の作成に向けたサポート(予備校)や作成後の実践フォローも行っています。

《経営指針を創る会のカリキュラム》
オリエンテーション

- 第1講 『労使見解』を学ぶ(合宿)
- 第2講 『経営理念』を深める
- 第3講 『10年ビジョン』の検討
- 第4講 『経営方針』の立案
- 第5講 『中期経営計画』の策定
- 第6講 『経営指針書』をまとめる
- 第7講 『経営指針書』の模擬発表



採用と“共育”



若手社員研修

中小企業経営の要諦は、人材の採用と育成にあります。地域の多様な人材の採用と育成を担える企業づくりを、経営者と社員が共に育つ「共育」の場づくりを通じてサポートしています。

【採用】 共同求人活動で大学とのパイプを強め、新規学卒者の採用活動に取り組んでいます。「経営指針書」を作成し、新卒を定期採用できる魅力ある企業づくりに取り組むことができます。

【新入社員の育成】 「合同入社式」「新入社員研修(4月)」「新入・若手社員研修(年2回)」の開催

【中堅社員の育成】 「中堅社員(入社4～7年目)連続研修会」の開催

【幹部・後継者の育成】 「マネジメントゲーム研修」の開催

【共に育つ企業づくり】 「経営共育塾」の開催 「月刊 共育ち」の普及



月刊 共育ち

元気な地域づくりを
行政や大学と連携して



知事に政策提言

大学との連携 県内大学とのインターンシップの取り組みや、会員が中小企業経営の魅力を伝える連携講座等を積極的に行い、中小企業の活性化と地域の若者雇用に努めています。

「滋賀でいちばん大切にしたい会社」認定 人を生かす経営を通じて、世の中から大切にされている会社をモデル企業として認定し、会の内外へ広めています。

良い経営環境づくり 「中小企業家の要望と提案」を毎年提出。知事や商工観光労働部と意見交換し、「中小企業憲章」「県中小企業活性化条例」の具体的な施策推進を目指しています。



あなたも企業を 発展させる経営者の 学び合いの場へ！

自分と会社を
圧倒的に成長させる場



(株)七黒
代表取締役 七黒 幸太郎 氏
(高島ブロック所属)

2010年。当時私は3名の社員さんと4名で個人事業を営んでいました。プレイングマネージャーなので休む暇も無く、気持ちにゆとりが無い為に、いつも焦り、いら立ち、その当てつけは社員さんへ。労働環境是最悪で悪循環の真ただ中なのに、その状態に陥っている事すら気が付いていませんでした。

そんな時同友会へ入会。その後2011年に経営指針を作成し、目標を明確に山積みの経営課題を同友会の仲間と相談し、ヒントをもらい、行動し実践してきました。結果、現在では労働環境は激変し、社員さんからは『同業者では考えられない程良い環境』と言ってもらえるほどになりました。お客様からは社員さんの人間力やサービスを常に絶賛頂き、これをスタッフに伝える事で本人に自信が生まれ好循環サイクルが生まれました。

そして売り上げは当時の4倍以上、社員さんの数も4倍になりました。今後更に豊かに成長する事も明確です。圧倒的な結果を創り出すきっかけが、ここ同友会にはあると、私は確信しています。

経営者に必要な
標への気づき



栗東総合産業(株)
常務取締役 井之口 哲也 氏
(湖南支部所属)

いま、事業を継続し発展させていくために経営者は多くのスキルを身に着けることを求められています。しかし、忘れてならないことは、如何に最新のテクニックや技術を導入したとしても、それを扱うスキルと、適切に扱うことができる倫理観を持ち合わせた人材がいなければ、事業を継続して広げていくことができないことです。人口減少化、高齢化が加速していく中で、私たち中小企業にとって最も重要なことは事業を共にする社員(仲間)を採用し育てて行くことです。

さらに、経営者には、自社事業を通して地域に貢献できるビジョンを描くことが求められています。これは、SDGsの普及をみれば容易にわかります。同友会では「理念経営」と「人間尊重経営」という経営者にとって根幹となる大事な考えを学ぶことができます。それは、すぐに利益が出るものではありません。しかし、経営に悩む人にとって大きな標を得ることができます。

是非、私たちと一緒に学び、事業を発展させていきましょう。

夢を定め
叶える学びの場



(株)PRO-SEED
代表取締役 青柳 孝幸 氏
(北近江支部所属)

2011年10月に同友会へ入会しました。2001年に創業し多くの出会いと運に恵まれて、業績を伸ばすも、リーマンショック、相次ぐ従業員の退社。数多くの困難に遭遇した時期です。

入会直後に受講した経営指針を創る会。そこでは様々な問いかけがありました。経営者として、何をしたいのか？何の為に経営をしているのか？初めての問いかけに、売り上げを伸ばし、利益を伸ばし、会社を大きくする事が目的と思っていた私に答える事は、できませんでした。しかし、創る会を受講し、過去の自分を振り返る中で、その答えが出ました。未来のエンジニアの育成こそが、私の使命であり経営者として、やるべき事だと。

そして2019年1月念願の新社屋完成、次世代のエンジニアの育成を目的としたロボット教室の開校。同友会での学びがなければ、おそらく実現出来ていなかったと思います。

同友会での学びを実践すれば必ず夢は叶います。同友会に入会し、目指す道を明確にし、一緒に夢を叶えましょう。

